

経済倶楽部便り

◆東京◆ 年明け以降もコロナ禍の終息は見えず、政府は1月8日から2月7日までの期間を設定して緊急事態宣言を発出しました。今回は

イベントについては5000人もしくは収容能力の2分の1のいずれか少ない人数を上限とするとの要請です。現在、講演会参加者はホールの収容能力の半分以下の80名程度。が、ここへきて講師の方のリモートによる講演希望が増えてきたこともあり、1月末から2月の講演会については無観客によるオンライン講演会に変更しました。現在、オンライン講演会の視聴者はリアル参加者を大きく上回っています。が、

半年以上、お顔を拝見していない会員が増えてきたのもやや物足りなさを感じます。

3月の講師は政策研究大学院大学教授の竹中治堅氏、第一生命経済研究所首席エコノミストの永濱利廣氏、ジャーナリストの中岡望氏、静岡県立大学特任教授の小川和久氏です。

◆中部◆ 1月最初の講師はノンフィクション作家の塩田潮氏でした。塩田氏は今年の干支、牛年について経済大変動の年とされました。過去の牛年は73年オイルショック、85年プラザ合意、97年山一、拓銀破綻、2009年リーマンショック後遺症と指摘されました。

3月の講師は国際金融マーケット研究家の豊島逸夫氏、TBS「ニュース23」キャスターの星浩氏です。

(日暮良一)